

反射材おてすごい!!!

意外に見えていない!

夕暮れ時や夜間は、ドライバーが歩行者に気づかない（闇に紛れて見えていない）ことがあります。「見えているだろう!」ではなく、「相手から見えていないかもしれない」という意識を持ちましょう。

夕方から出かけるときのポイント

①明るい色の服を着る。

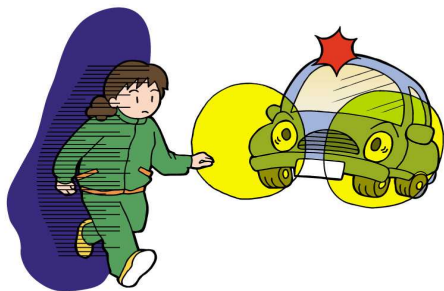
②反射材を身につける。

暗いところでも、反射材をつけていると、光が反射して、とてもよく目立ちます!!



自動車の下向きライトは、夜間に前方40mの距離にある障害物が確認できればよいとされています。時速60kmで走る車は、わずか2、4秒で目の前に来ます。だからこそ、自分の姿を目立たせ、いち早くドライバーに知らせることが大切です。そのためにも、反射材を活用しましょう!!

(反射リストバンド・反射ジャンパー・反射かばん・反射かさ・靴のかかとはる反射シートなど)



暗いときに、黒っぽい色の服を着ていると、相手からは見えにくいものです。**黄色や白などの明るい色の服**を身につけましょう。

夕方以降でかけるときは、反射材をつけましょう。

【自転車】前と後ろだけでなく、**スポーク(車輪)に反射材をつけることで、どの角度からも自転車を確認することができます。**(道路交通法で、車両後部に反射材か尾灯をつけることを義務付けられています。)

【歩行者】1カ所だけでなく**何カ所も付けたり、懐中電灯を持ったり**しましょう。

特に、**靴のかかとはるにつけるとよく目立ちます。**